

リンダウ・ノーベル賞受賞者会議派遣事業 平成30年度 参加者アンケート

1. 本事業をどのような経緯で知りましたか。(複数回答可)

JSPSのHP	3	<div style="width: 30%; background-color: #FFD700;"></div>
JSPSのメールマガジン (JSPS Monthly、国際交流事業公募情報)	1	<div style="width: 10%; background-color: #FFD700;"></div>
JSPSからのメールでの案内	4	<div style="width: 40%; background-color: #FFD700;"></div>
所属機関からの案内	2	<div style="width: 20%; background-color: #FFD700;"></div>
所属学会のHP、メールマガジン	1	<div style="width: 10%; background-color: #FFD700;"></div>
日本人研究者からの案内	1	<div style="width: 10%; background-color: #FFD700;"></div>
外国人研究者からの案内	2	<div style="width: 20%; background-color: #FFD700;"></div>
その他 (所属機関に掲示されたポスター)	1	<div style="width: 10%; background-color: #FFD700;"></div>

2. リンダウ・ノーベル賞受賞者会議への参加は有益と回答した理由は何ですか。

ノーベル賞受賞者の話、各国から来た若手研究者との議論、日本人研究者との議論、日本人研究者との出会い、どれをとっても本当にかげがえのない経験になったため。

これほどまで多くのノーベル賞受賞者が若手のために時間を割き、さらに個人的に会話できる機会は二度となく、間違いなく私の研究人生に大きな影響を与えたため。

かけがえのない時間、かけがえのない仲間との出会いがあるから研究室に籠もっていても絶対に経験できないため。

参加報告書に記載した様に、他では得られない経験が得られたため。

自分のキャリア、ならびに研究の方向性を考える上で重要な経験を得ることができたため。

世界各国の著名なノーベル賞受賞者や同世代の意欲的な研究者達との交流を通じ、自分の研究を客観的に捉え、科学的素養を身に付けた人間としてその知識や経験をどのように社会へ還元していくべきかを、初めて明確に考えるきっかけを得られたため。

参加報告書と重複する内容も多いですが、数十名のノーベル賞受賞者と数日間行動をともにする機会は本会議を除いて無いと思いますので、とても貴重な経験ができたという観点からとても有益でした。また、国内外の若手研究者との交流も刺激的な時間でした。研究分野が異なる600名の若手研究者が集う機会もほとんどありませんし、その中でコミュニケーションをとる楽しさと難しさを肌で感じることができました。日本人参加者との交流も有益でした。国外での研究経験が豊富な人たちが多く、6年近く国外にいても英語でのディスカッションに不自由を感じる場面があるなど、実体験を直に聞くことができました。会議全体を通して知的な鋭さと心地よい雰囲気が出されておき、硬軟織り交ぜたイベント・プログラムには感銘を受けました。将来、私が学会・研究会などを企画・運営する立場になった時に、本会議は有益な参考モデルになると思うため。

まとまった数のノーベル賞受賞者と会え、気軽に話しかける機会がある場合は唯一無二ではないかと思う。また、おそらく将来の日本のサイエンスを牽引していくであろう同世代かつ分野の異なる日本人研究者たちと交流、意見交換できたことは、将来にわたる財産になると思うため。

様々な面で有益な情報やネットワークを得られた。参加した人しか言葉にできない唯一無二の経験になることは間違いないので、チャンスがあるのであれば、迷わず申請されることを強く推奨する。

ノーベル賞受賞者や若手研究者から非常に良い刺激を受けました。参加者との交流が、研究テーマ設定方法や研究環境の問題点など、様々なことを熟考するきっかけとなりました。お陰様で大変貴重な経験をさせて頂きました。ご支援頂きありがとうございました。

3. 他の日本人若手研究者にも本事業への参加を勧めたいと思いますか。

はい	11	<div style="width: 100%; background-color: #FFD700;"></div>
いいえ	0	<div style="width: 0%; background-color: #FFD700;"></div>